

YIA 会員だより 2024年3月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第231号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【3月以降の活動予定他】

◎グローバルセミナー第4回：3月23日13：30～

場所 吉野川市文化研修センター

テーマ US メリーランド州あれこれ

◎日本語教室お花見：3月31日予定

◎YIA 総会：5月12日13：00～

場所 吉野川市文化研修センター

◆「通訳・添乗員同行のベトナム旅行」

国際理解講座開催・報告 萩森 健治

2月24日午後「通訳・添乗員同行のベトナム旅行」と題する国際理解講座を開催し、私が講演しました。参加者は、一般の方とYIA会員の計19人でした。

講演では、日本語教室の講師ら4人が12月中旬に、ベトナム人受講生の案内でベトナム北部のハノイ、ナムディン、中部のホイアン、フエなどを8日間旅行した時の様子を多くのスライド写真を使って話しました。



旅のメンバーは、日本語教室の平田さん、井口さんと萩森夫妻、それに一時帰国したベトナム人のホンさん、チンさんです。二人の通訳・添乗員のおかげで、世界遺産のチャンアンなど各地の名所観光、美味しいベトナム料理、家庭訪問などを楽しむことができました。

講演後の懇談会では、ベトナムでのトイレ事情、ホテルやレストランなどでの水道水や生野菜が安全かどうか、どんなお土産を購入したか、航空運賃はいくらかなどの質問がありました。また、ベトナムは社会主義国家である割に国民は自由主義国家のようなふるまいをしているがその理由は？といった質問もありました。吉野川市内に在住する外国人が509人と過去最多となり、中でもベトナム人が1/4でもっとも多い状況です。こ

のような時期にベトナム旅行について楽しくお話しし、参加された皆さんにベトナムに対する関心を持っていただくことができ良かったと思います。

◆国際理解講座に参加して 平田 仁子

今回の萩森さんのベトナム旅行記を大変楽しみにしていました。萩森さんのプレゼンは、観光スポットだけでなく国や地理的な説明もあり、ベトナムの魅力たっぷり、楽しく拝聴させていただきました。

吉野川市にもたくさんのベトナム人が暮らしています。今回のベトナム人ホームビジットのような異文化交流がもっともっと増えればいいなと思いました。

◆山川クッキング交流会 三原 敦子

2月25日(日)山川公民館調理室にて教室に通う人たちによるクッキング交流会を開催しました。参加人数は26人。内訳は日本人15人、カンボジア人



2人、インドネシア人4人、ベトナム人2人、中国人2人、ネパール人1人です。

そして9時からクッキングに取り掛かりましたが、実習生の人たちが持ってきた食材の豊かさとそれを料理する手際の良さに目を見張るばかりでした。しばらくするといい匂いが漂い始め11時ごろに完成しました。

メニューを簡単に説明すると、カンボジアはスナオチュル(鶏肉スープ)中国は前日から準備しておいてくれた鶏肉ミンチ水餃子、





ベトナムはソイ（もち米とまめの蒸しご飯）、goi thit ga（豆や蒸し鶏のサラダ）揚げ春巻き、インドネシアは soto ayam（鶏スープ）

perkedel kentang(コロッケ)。少し私の表記が怪しいのですが、皆さんもまた検索をして作ってみてくださいね。立食パーティーになりましたが、初顔合わせの人たちも深みのある優しい味を次々と堪能し、笑顔で会話も弾んでいました。食後には今関さんが前日から用意してくれたコーヒーゼリー、漬物、ぜんざいを頂き大満足の3時間でした。

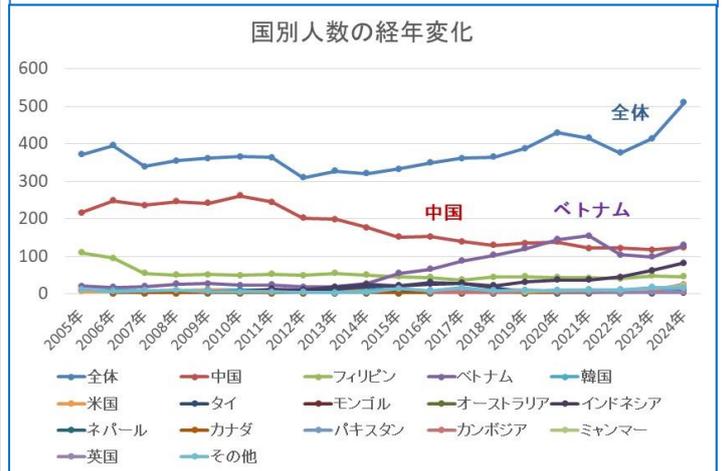
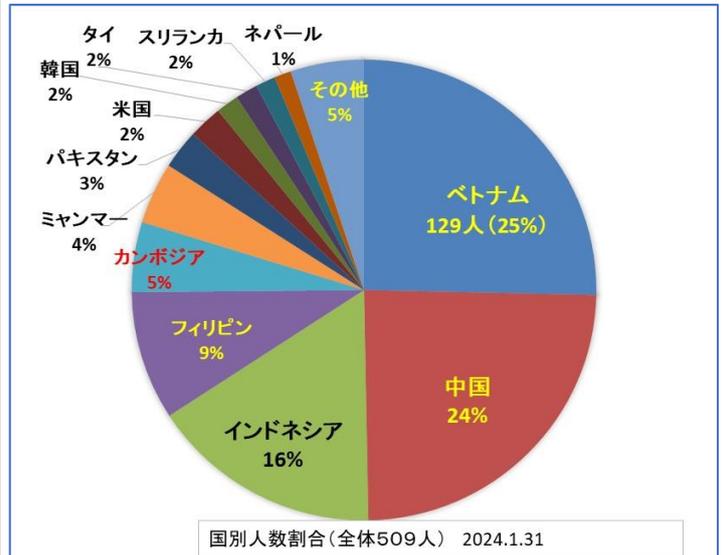
最後に3月から他県に移ることになった実習生のお別れ会にもなり、みんなへの感謝の言葉をもらい、思い出に残るクッキングとなりました。



◆吉野川市に住む外国人の状況 萩森 健治

市内に在住する外国人の状況について毎年1月末時点で調査しており今年(2024年)の結果を報告します。

- ① 市内の外国人は昨年より95人増で509人となり過去最多。コロナ禍で2021、2022年に2年連続で計54人減少したが、コロナが第5類に緩和されたことにより急増。外国人割合は市内人口の1.3%。
- ② 出身国は24か国で2か国減少したが、多くの国籍の人たちが多文化共生の様相を呈す。
- ③ ベトナムは31人増の129人となり1位。技能実習を終え特定技能として再入国した人が増えたか？
- ④ 昨年1位の中国は7人増で124人となったが、ベトナムについて第2位に。
- ⑤ インドネシアは20人増82人で技能実習生が多い。
- ⑥ フィリピンは2人減で46人。日系など身分に基づく在留者が多く変動が少ない。
- ⑦ カンボジアは14人増で25人。ミャンマーも8人



増で22人。パキスタンは3人増で14人。

- ⑧ 米国は昨年同様12人、韓国も昨年同様8人。
- ⑨ タイは8人。多い年は30人いたが6年前に16人となり減少の一途。スリランカは5人増で7人。
- ⑩ 以下、ネパール6、英国4、カナダ4、インド3、ハンガリー3、モンゴル2、台湾2、ルーマニア2、ロシア2、ブラジル、ドイツ、ニュージーランド、ウクライナ各1人 24か国 合計509人

◆ベトナムのテトを祝う 萩森 健治

2月9日、ベトナム人6人と日本語講師3人が我が家でベトナムのお正月(テト)を祝いました。ベトナムの皆さんは、以前は鴨島教室の常連メンバーでしたが、徳島市や鳴門市の介護施設で働くようになり、あまり会えなかった人たちです。寄せ鍋とテトには欠かせないバインチュンを食べながら何度もカンパイ。食後はカラオケとダンスで大盛り上がりしました。

